

(別添資料1)

事業所名

サルビアの家 FLAGSHIP

## 児童発達支援 支援プログラム

作成日

6年

12月

1日

法人（事業所）理念	当法人は、障害があっても介護が必要となっても、その人らしく人生を過ごしていけるよう、寄り添うことを念頭に置いて活動しています。地域には、さまざまな支援を必要とされる方がたくさんいらっしゃいます。今後も既成概念にとらわれることなく、自由な発想を持って地域社会に貢献できるよう新たな取り組みにチャレンジし続けていきたいと考えております。		
支援方針	障害のあるお子さんが日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、障害のあるお子さんの身体および精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導および訓練を行います。		
営業時間	9時00分から	17時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身に着ける方法や、食を営む力の育成と楽しい食事への配慮を行います。また、遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、環境配慮を工夫します。	
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の感覚は、力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。ミュージックケア・音楽遊びの活動にも取り組みます。	
	認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に学習できるかを模索し、支援します。また、「着席」「大人をよく見る」「少し苦手なことも頑張ってみる」等課題に向き合う姿勢や力がつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と実感できるように関わり方や内容を工夫します。	
	言語コミュニケーション	「お願いをする」「話す」「耳を傾ける」「まねをしてみる」「観察する」など、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、子どもに合った方法を考え支援します。	
	人間関係社会性	「順番交代」「役割」「ルールを守る」「指示に沿った行動をする」など、社会に適應する為に必要なスキルを学びます。また、「感情に気付く」「感情に名前を付ける」「対処法を考える」など、気持ちのコントロールを練習します。また、ストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考えます。	
家族支援	ご家族に寄り添い安心して生活を送ることができるよう、必要に応じて情報共有や相談援助等を実施します。	移行支援	地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携	支援体制の構築を図るため、必要に応じて学校や支援機関等との連携を実施します。支援方針を検討するため、関係機関との連携・会議を行います。	職員の質の向上	各種研修等に取り組み、職員の質の向上に努めます。虐待防止及び身体拘束の適正化研修、感染症対策・感染症BCP・自然災害BCPに関する研修・訓練、個人情報保護に関する研修、事故発生時・緊急事対応、苦情・相談対応、防災・防犯研修・訓練、ハラスメントに関する研修など
主な行事等	【通年】お誕生日会 【春】お花見 【夏】海水浴 【秋】釣り体験 【冬】クリスマス会、お正月		